

石川島建材工業ニュース



NO. 67

平成16年10月25日

各位

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

石川島建材工業株式会社

代表取締役社長 藤本 幸男

(コード番号 5276 東証第2部)

(決算期 3月31日)

問合せ先 常務取締役経営管理本部本部長

窪田 利通

(TEL. 03-5221-7211)

当社の親会社 **石川島播磨重工業株式会社**

代表取締役社長 伊藤 源嗣

(コード番号 7013 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月17日の決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当中間期の業績予想数値の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(1) 連結業績予想

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	15,000	950	560
今回修正予想(B)	16,000	990	530
増減額(B-A)	1,000	40	30
増減率(%)	6.7%		
(ご参考) 前期実績(平成15年9月中間期)	13,667	1,276	769

(金額の単位:百万円)

(2) 個別業績予想

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	6,500	300	180
今回修正予想(B)	9,500	100	80
増減額(B-A)	3,000	200	100
増減率(%)	46.2%		
(ご参考) 前期実績(平成15年9月中間期)	6,331	373	240

(金額の単位:百万円)

(3) 修正理由

中間期個別業績の売上高につきましては、鉄道・道路用資材の納入が下期から繰り上がったことにより30億円の大幅な増収となる見込みです。経常損益及び中間純損益につきましては、増収による増益等によってそれぞれ好転する見込みです。

中間期連結業績の売上高につきましては、鉄道・道路用資材が増収となるものの橋梁の完成が下期にずれ込むため10億円の増収にとどまる見込みです。経常利益につきましては、鉄道・道路用資材が増収により増益となるものの橋梁の減収による減益により全体として若干悪化する見込みです。中間純損益につきましては若干好転する見込みです。

2. 当通期の業績予想数値の修正(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(1) 連結業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	44,500	1,200	500
今回修正予想(B)	46,000	1,100	430
増減額(B-A)	1,500	100	70
増減率(%)	3.4%	8.3%	14.0%
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	46,047	1,105	427

(金額の単位:百万円)

(2) 個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	22,500	620	300
今回修正予想(B)	24,000	620	300
増減額(B-A)	1,500	-	-
増減率(%)	6.7%	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年3月期)	22,022	591	291

(金額の単位:百万円)

(3) 修正理由

通期個別業績の売上高につきましては、鉄道・道路用資材の納入が翌年度から繰り上がることにより増収となる見込みです。経常利益及び当期純利益につきましては、増収による増益並びに金融収支の改善はあるものの建築部門での追加コストの発生等によってほぼ前回予想通りにとどまる見込みです。

通期連結業績の売上高につきましては、個別業績予想と同様に鉄道・道路用資材の納入が増加することにより増収となる見込みです。経常利益及び当期純利益につきましては、鉄道・道路用資材の増収により増益となるものの建築部門での追加コストの発生等により前回予想を若干下回る見込みです。

なお、上記の予想数値は現時点での見込み数値であり、実際の業績は経済環境、事業環境等様々な要素により変動する可能性があります。

以上